

SaaS/ASP型 Web会議比較表

	サービス名	nice to meet you	Soba	Mora video conf.	Spread	LiveOn	SaaSBoard	Live Space	MeetingPlaza	T-Client	Webex	FreashMeeting	参考 (SaaSではなくプログラム配布型)	
	提供会社	株式会社アイキューブ	株式会社SOBAプロジェクト	ITX(株)	株式会社KGSolutions	ジヤパメディアシステム(株)	ニューロネット(株)	Live Space Project	NTT IT	AGT Japan	シスコ	サイドフィード(株)	Skype社	MS-SharedView
特徴・契約型	特徴	2008年東京都ベンチャー技術大賞受賞。現時点のシェアNO.1 運用方式が会議室型なので、同時開催会議に制限がある。	京都大学の学生が起業。当初無料サービスを行い話題を集めたが、現在は活動が低調。P2P方式の為、企業導入の場合注意が必要。	ITX(株)が開発後、オンラインバスグループが買収。セキュリティ機能を強化。多人数会議、大規模会議はオプション提供のため価格割増し。	ドイツのstuktur社が提供するサービスを日本展開。利用契約はお客様とstruktur社との間の締結の為、国際間契約となる。3名までの無料サービスがある。	ASP版は最大20名までの参加者。それ以上はオプションでセミナータイプ1,000名まで。	2009年10月からサービス開始。SNSを持つことから組織の活性化と情報の蓄積に強み。日本語/英語サイトがあり、シームレスに国際間コミュニケーション可能。	会議室型で最大20名まで。それ以上はサーバーライセンス。会議室数増加ごとに料金増加。	同時接続数に制限あり。上限32。また従量制のため、料金は利用時間による。	ASP版は同時接続9拠点まで。エコーキャンセラでクリアな音声があり。最大9拠点25名までの小規模会議向け。	業界先行サービスであったため世界規模で見ると利用者数が多い。米国本社のため対応が遅い。サービス料金が高額。	簡易型サービス。小規模会議用。機能的にはWeb会議というより、文字チャットツール	最大25名までのボイスチャット無料。Web会議というより、無料電話の位置づけ。P2Pの為企業導入はセキュリティー上危険とみなされている。プログラムダウンロードと設定が必要。自己管理なので専門知識要。	最大15名までの資料共有無料サービス。Web会議というより資料を共有しながら文字チャットが出来るサービス。MSサイトからプログラムダウンロードと設定が必要。自己管理なので専門知識要。
	(注1) 運用方式/契約型	会議室型	個人ID型	個人ID型	会議室型	個人ID型	個人ID型	会議室型	会議室型	会議室型	個人ID型	個人ID型	プログラムダウンロード	プログラムダウンロード
サービス価格(注2)	一人当り月額 (10名利用の場合)	¥7,990	¥5,250	¥7,135	¥1,160	¥9,975	¥980	¥5,447 (一会議室)	¥7,916	¥3,000	¥10,000	¥1,400	¥0	¥0
	一人当り月額 (100名利用の場合)	¥23,832 (30部屋30IDとした場合)	上限50ユーザーまで	オプション提供	上限50人1会議室まで	¥10,237 (オプション)	¥1,330	ライセンス買取	同時接続が最大32のため、100名は不可	最大25名までのため100名は不可	¥10,000	?	最大25名まで	最大15名まで
	一人当り月額 (1000名利用の場合)	-	上限50ユーザーまで	オプション提供	上限50人1会議室まで	?? (オプション)	¥1,330	x	同時接続が最大32のため、100名は不可	最大25名までのため1,000名は不可	¥10,000	-	最大25名まで	最大15名まで
必須機能	SNS機能	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x
	ボイスチャット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○	x
	ホワイトボード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	x
	画面共有	オプション 専用ソフトダウンロード	x	オプション	○	○	○	x	○	○	○	x	自分以外1名まで	○
	映像伝信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	1:1のみ。複数不可	x
必要機能	文字チャット	○	○	x	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○
	アプリケーション共有	オプション	○	オプション	○	○	開発中	x	○	x	x	x	x	△
	外部者招待	○	x	x	x	x	○	x	○	x	○	○	○	x
	英語サイト	△	x	x	○	日/英どちらか一方選択	○	x	x	日/英どちらか一方選択	○	x	○	○
付帯機能	メッセージ送信	x	x	○	x	○	○	x	x	?	x	?	x	x
	スケジュール	x	x	オプション	x	オプション	○	x	○	x	○	x	x	x
	会議ログ管理	x	x	x	x	x	○	x	x	○	x	x	x	x
	録音録画	○	x	○	○	○	オプション	x	○	x	○	x	x	x

(注1) 「会議室型」は従来のテレビ会議と同様の考え方で、会議室ごとに契約を行う。大人数で1会議を行うのに向く。反面、各個人が別々の会議を行いたい場合は多量の会議室契約が必要となり高額契約となる。
「個人ID型」は各個人が独立して会議を行え、複数の異なる会議を同時に開催することが可能。思い立った時に各個人が会議開催出来るため、柔軟性がある。個人ID数が契約の単位となる。

(注2) 価格は「会議室型」と「個人ID型」および、「固定制型」と「従量制型」を同じ基準(近い基準)とするために、以下の基準の上で算出している。
・個人ID型はいつでも会議が持てるので参加者(登録者)の1/2の同時会議開催が可能。つまり、10名の場合5会議が同時開催可能。会議室型の場合は少なくとも3名で1会議室を持つものとして計算した。10名の場合は3会議室、100名の場合は30会議室の契約を行った場合の価格。
・「固定料金制」は24時間いつでも会議をすることが可能。従量制もせめて8時間勤務の2時間程度は自由に会議が出来る必要がある。よって、各自が2時間会議をやった場合の料金として算出。
・初期費用がある場合は、月割りで初年度に算入している。(例) 初期費用60,000円、月額費用3,000円の場合、一人当たり月額=3,000円+(60,000/12)=8,000円

(注3) 機能の「○」「×」はインターネット調査および、サービス提供社への聞き取りによる。聞き取り出来なかったもの、インターネット上に情報が見当たらない機能、またサービス提供社のホームページ上に機能の掲載が無い機能は「×」とした。